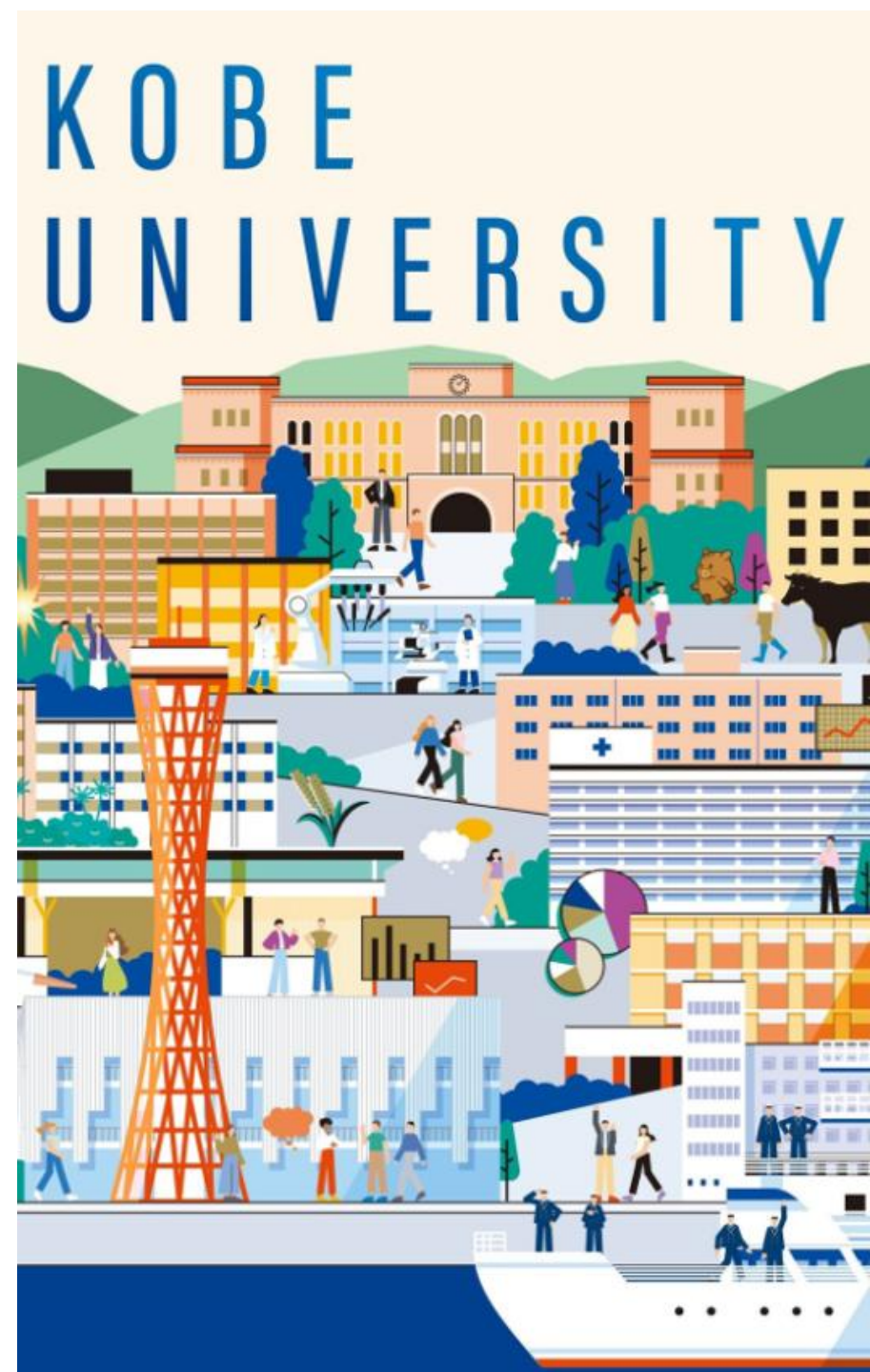


神戸大学外国語第I教育部会

<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-fll/index.html>

神戸大学の英語教育 AY2026



神戸大学の英語教育の目標

Academic Englishとは？

- 1年の必須授業の科目名
- 「Academic English Literacy/Communication」
- Academic Englishとは？
- 1) アカデミック≠狭義の研究 ■国際的な舞台における研究・ビジネスに要求される「知的活動」を支える英語力
- 2) 状況の検証、問題の発見、調査と分析、解決の模索、結果の集約、他者への効果的な伝達、のすべての過程に関与
- 3) AIに代替されうる英語の表層的処理でなく、「人間の知的思考の基盤」を支える英語の基礎力

英語テストのスコアを上げるためではなく…

- 「神戸大学の英語」の全体目標
 - ① 英語を用いた国際的な学術研究の重要性に対する理解を深める
 - ② 多様な価値観を尊重し異文化を深く理解する力を伸ばす
 - ③ 「受容・産出・やりとり・仲介」の言語技能の各面を包含する総合的な学術英語運用能力を涵養する
-
- Cf. 「受容・産出・やり取り・仲介」
 - Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) CV (2018年2月発表) に基づく言語技能観

仲介能力って？

- 「情報・知識・概念へのアクセスを容易化する能力」
 - 【テキスト仲介】要約・解説・翻訳・分析。
 - 【コミュニケーション仲介】様々な人々の橋渡しや交渉の手助け
 - 【概念仲介】グループワーク・協働による新しい意味の創造
-
- 異言語間仲介（通訳）
 - 言語内仲介（方言、若者言葉、フォーマル/インフォーマルの言いかえなど）

1年前期の英語の学び



神戸大学 英語カリキュラムマップ (2026年度)

将来の研究や仕事の基盤となる《アカデミックイングリッシュ》の習得を目指して

主な英語系科目の概要

外国語セミナー (英語)

- A: AEL Plus (AELで学んだ口頭英語能力を高度に伸ばす)
- B: AEC Plus (AECで学んだ読解・作文能力を高度に伸ばす)
- C: Academic Lecture (専門分野の入門講義を英語で受講し、学術英語を鍛える)
- D: Online English Skills' Training (教員のアドバイザーを受けながら、オンラインの英語学習教材で自律的に学修を進める)

グローバルチャレンジ実習 (海外外国語研修)

- 「ワシントン大学研修」ワシントン大学に滞在し、語学研修・現地関連機関視察・学生交流などを行う。
- 「国立台湾大学研修」台湾の大学生とチームを作り、オンラインでの定期的な交流を通してリサーチを共同実施する国際共修コース。

選抜制ACEコース

外部試験で基準スコアを満たした学生が受講できる選抜制上級コース。英語母語話者教員チームがAEC/AELの2クラスを連結して指導。ACE Student Conferenceを学生自らが企画・運営し、全員が英語で研究発表を行うことでアカデミックスキルを磨く。

AEL-A/B, AEC-A/B

英語を用いた国際的な学術研究の重要性に対する理解を深め、多様な価値観を尊重し異文化を深く理解する力を伸ばすとともに、読む力・書く力および聞く力・話す力を中心として、受容・産出・やりとり・仲介の各面を包含する総合的な学術英語運用能力を涵養する。

多言語と多文化の世界

グローバル社会における言語文化の実態を多角的に学ぶ。「神戸大学の外国語教育」「英語」「母語と外国語」「第二言語習得のメカニズム」「外国語の学習方法」等。

カリキュラムの3階層

2年次～大学院

学部・研究科英語専門科目
正規留学・交換留学

* 神戸大 海外協定校 398校 (2025年11月現在)

1年次～4年次

【外国語第I部会・総合系】「外国語セミナーA～D (英語)」
【国際部会・総合系】「グローバルチャレンジ実習 (海外外国語研修)」

1年次後期

*一部学部を除く

一般コース
「AEL-B」
「AEC-B」

選抜制ACEコース
「AEL-B(ACE)」
「AEC-B(ACE)」

単位免除
選択クラスの
早期履修

能力と将来のキャリアパスに応じた「学び」の分岐。

1年次前期

*一部学部を除く

【外国語第I部会・外国語系】
「Academic English Literacy (AEL)-A」
「Academic English Communication (AEC)-A」

【教養部会・基盤系】「多言語と多文化の世界」

学修の目標

学術英語からMy Englishへ

- ① 専門の学びに応じた英語力の習得
- ② 一般目的英語 (EGP) から、専門目的英語 (ESP) への転換
- ③ 正規留学・交換留学を通じた英語による交流力・交渉力の育成

学術英語を展開する

- ① 進路を見据えた選択系科目
- ② 外部試験受験を通じた英語力の自己診断と学修の自己調整
- ③ 短期留学による国際的視野の拡大

学術英語の基礎を固める

- ① 英語を用いた国際的な学術研究の重要性の理解
- ② 複眼的に思考する能力と多様性と地球的課題を理解する能力の伸長
- ③ 学術場面で要求される英語諸技能の総合的運用能力の向上

レベルの目安

CEFR: B2+

TOEIC-LR 785-
TOEFL: 72-

CEFR: B1 Upper

TOEIC-LR: 710-780
TOEFL: 62-71

CEFR: B1 Middle

TOEIC-LR: 630-705
TOEFL: 52-61

1年前期

1年次前期 *一部学部を除く

「Academic English Literacy (AEL)-A」
「Academic English Communication (AEC)-A」

【基盤系科目】「多言語と多文化の世界」

- オンデマンド学修 「多言語と多文化の世界」
- 通常クラス 「AEL」「AEC」 週に各1回(月・水)

「多言語と多文化の世界」(1年前期必修)

- 英語を含む外国語の背景や、外国語学修の方法・重要性を学ぶ。
- ビデオ授業。ビデオ視聴後にクイズに回答 → 「合否判定型」クラス。

01. 神戸大学の外国語教育	神戸大学の英語教育
01. 神戸大学の外国語教育	神戸大学における第二外国語教育について
02. 英語	Why study English at university?
02. 英語	英語はどのようにして英語になったか
02. 英語	英語は誰のものなのか? : ENLからELFへ
03. フランス語	フランス語学習のすすめ
03. フランス語	フランス語の挨拶表現、フランス文化について
03. フランス語	フランスの思想、美術、文学、言語学
04. 中国語	中国語と中華文化-身近な所からグローバルな視点まで-
05. ドイツ語	ドイツ語を学ぶ、ドイツ語で考える
05. ドイツ語	ドイツ語圏における政治、言語、芸術、歴史
05. ドイツ語	ドイツ語学習の紹介
06. ロシア語	①ロシアとロシア語について
06. ロシア語	②ロシア語の文字や音、挨拶表現
06. ロシア語	③ロシア語の具体的な履修体系や授業の進め
07. 様々な言語	様々な言語
08. 外国語としての日本語	海外での日本語教育
09. 母語と外国語	外国語を通じたコミュニケーションと社会の学び
09. 母語と外国語	母語と外国語の境界(仮)
10. 第二言語習得のメカニズム	英語上達の秘訣とは? : 「チャンク」を掴んで英語脳を鍛える
10. 第二言語習得のメカニズム	第二言語習得における個人差(仮題)
10. 第二言語習得のメカニズム	(仮) 第一言語と第二言語の習得プロセスにおける違い
11. 外国語の学習方法	Unlocking the Power of Communication in Your Second Language
11. 外国語の学習方法	英文レポートの作成方法
11. 外国語の学習方法	外国語学習ツール: その意義と利用法
12. 日本から見た世界	グローバルに活躍する人材になるために
13. 世界から見た日本	国際協力って何だろう?
14. 異文化コミュニケーション	(仮) 多様な他者とのよりよいコミュニケーションに向けて
15. 言語と思考	言語から考える多様性・公正性・包摂性: やわらかな言語の在り方を目指して
15. 言語と思考	非言語コミュニケーション
15. 言語と思考	サピア=ウォーフ仮説から考える言語と思考の関係

神戸大の
英語カリキュラム

英語の歴史、英語の使用
実態、大学英語の意義

英語の学び方

社会の中の英語
(英語と思考)

AEL/AEC (1年前期)

- 学部・学科・学生番号順に基づく自動配当
 - 月曜・水曜に開講。前期科目はA、後期科目はBの枝番がつく。
 - Academic English Literacy (AEL)-A/B
 - Academic English Communication (AEC)-A/B
- 学術的な題材を扱うことによって、あるいは、一般的な題材を学術的な観点から扱うことによって、多様な価値観を尊重し異文化を深く理解する力と、それを支える優れたコミュニケーション能力、すなわち、【AEL:読む・書く／AEC:聞く・話す】を中心として、受容・産出・やりとり・仲介の各面を包含する総合的な学術英語運用能力の育成を目指す。

1年間で8科目すべての合格が必要

- 1週間に1回×8週完結の授業を、週に2回、1年間で8クラスを履修。
 - 1年次前期第1クォーター(1Q) AEL-A1
 - 1年次前期第1クォーター(1Q) AEC-A1
 - 1年次前期第2クォーター(2Q) AEL-A2
 - 1年次前期第2クォーター(2Q) AEC-A2
 -

 - 1年次後期第3クォーター(3Q) AEL-B1
 - 1年次前期第3クォーター(3Q) AEC-B1
 - 1年次後期第4クォーター(4Q) AEL-B2
 - 1年次後期第4クォーター(4Q) AEC-B2
-
- ※前期A、後期B
 - ※前半クォーター1、後半クォーター2

1年後期のクラス分岐

1年次後期におけるコースの分岐

能力とキャリアパスに応じたクラスの選択

- <一般コース>
- 前期同様、学部・学科別で、AEL/AECを受講
- <選抜コース>
- TOEIC650点以上(目安)なら → 選抜制上級クラス「ACEコース」への申請が可
- <単位免除コース>
- TOEIC800点以上(必須)なら → 後期単位授与制度への申請が可。AEL/AECに代えて、選択クラスを早期履修可。
- ※ACE or 単位免除コースはどちらか1つのみに申請可能。併願は不可。



一般コース

- AEL-B, AEC-B
- 前期の内容を基本的に踏襲
- 前期より、やや内容的に高度なマテリアルを扱う
- クラス指定

選抜コース (Accelerated Course in English: ACE)

- (1) 半年間の学修を経て、英語による「**ACE Student Conference**」を学生自身で企画・実施。全員が国際会議場で英語による研究発表を体験。
- (2) **少人数クラス**。
- (3) 外国人教員によるチーム指導。
- (4) AELとAECの2クラス連動指導によるオールラウンドな学術英語力養成。
- (5) ACE専用の独自開発共通教材の使用。
- (6) 「AEL-B (ACE)」、「AEC-B (ACE)」という独自科目名で単位認定。**選抜制コースで学修したことが公式に記録**。
- (7) 「秀」や「優」の人数制限が撤廃 (ACEを取ったことによる成績評価上の不利益はない)



単位免除コース

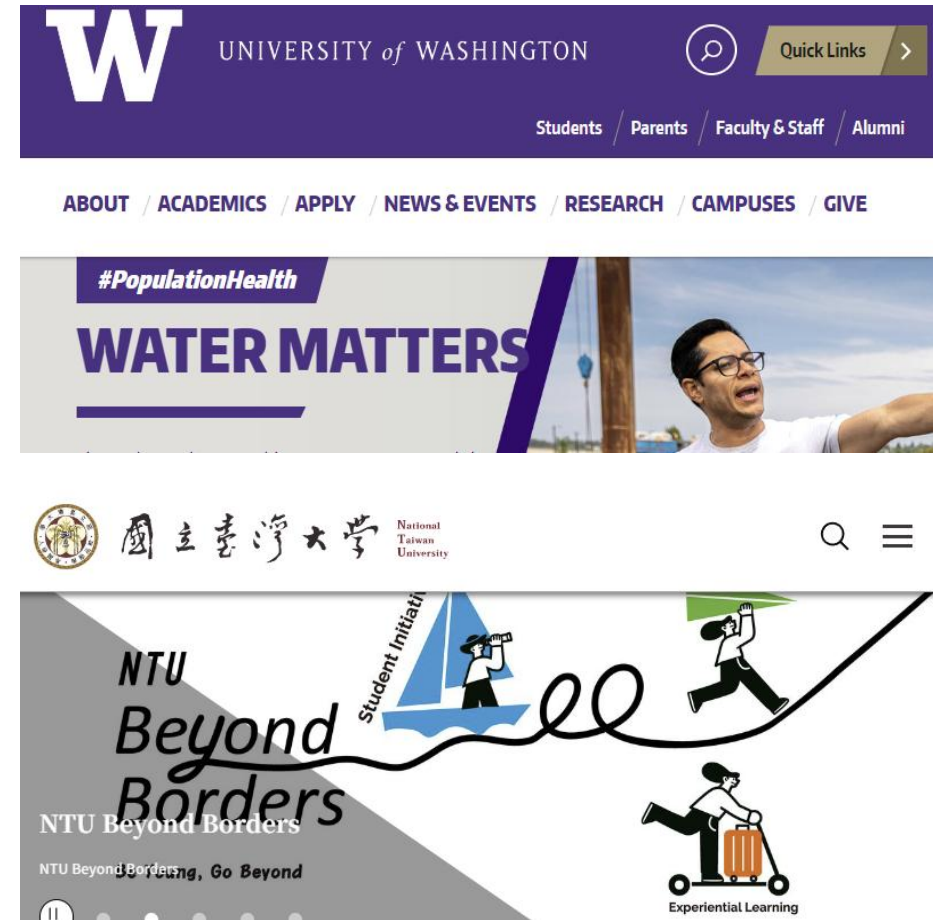
- 後期のAEL-B、AEC-Bの受講を免除
- 各自の判断で、代替として、選択制のセミナー授業などを履修

外国語セミナー（英語）

- A: AEL Plus (AELで学んだ口頭英語能力を高度に伸ばす)
- B: AEC Plus (AECで学んだ読解・作文能力を高度に伸ばす)
- C: Academic Lecture (専門分野の入門講義を英語で受講し、学術英語を鍛える)
- D: Online English Skills' Training (教員のアドバイジングを受けながら、オンラインの英語学習教材で自律的に学修を進める)

海外研修で学術英語力を磨く

- 「ワシントン大学研修」 ワシントン大学に滞在し、語学研修・現地関連機関視察・学生交流などを行う。
- 「国立台湾大学研修」 台湾の大学生とチームを作り、オンラインでの定期的な交流を通してディスカッションを共同実施する国際共修コース。
- グローバルチャレンジ実習として単位が授与される。 ※1科目のみ。



画像出典：両大学ウェブサイト（閲覧日2025/3/14）

選抜コースor単位免除の申請

コース分岐のための要件早見表

- 多くの学生が入学後にTOEICを受験し、そのスコアで申請を行う

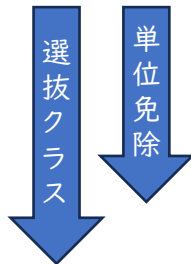
	ACE申請 (目安スコア) 申請期限～7/8	単位授与申請 (必須スコア) 申請期限～6/11
TOEIC-LR	650	800
旧TOEFL (グロ文TOEFL)	470	560
新TOEFL	52	83
IELTS	4.5	6.0
英検	準1	1級
GTEC	1,000	該当なし

※旧TOEFL=PBT(Paper-based Test) : 紙で行う2技能試験、新TOEFL=iBT (internet-based Test) : PCで行う4技能試験

「神戸大学TOEIC」テスト(2026年度)

特別コースの申請にも使用可。

- TOEIC L/Rテスト(990点満点、2時間)
- 学外公式試験受験料 7,810円
- 「神戸大学TOEIC」学内団体受験料 4,600円
- 「神戸大学TOEIC」1年生初回特別割引受験料 1,500円



試験の種類	実施回数	試験日	申込期間
TOEIC Listening & Reading IPテスト	第1回	2026年5月9日(土)	4月3日(金)~4月17日(金)
TOEIC Listening & Reading IPテスト	第2回	2026年5月23日(土)	4月20日(月)~5月8日(金)
TOEIC Listening & Reading IPテスト	第3回	2026年6月13日(土)	5月11日(月)~5月22日(金)
TOEIC Listening & Reading IPテスト	第4回	2026年10月31日(土)	10月1日(木)~10月9日(金)
TOEIC Listening & Reading IPテスト	第5回	2026年12月5日(土)	10月28日(水)~11月6日(金)

※1回生「単位授与制度」の申請が可能な試験日…5月9日・5月23日

※1回生「選抜上級クラス」の申請が可能な試験日…5月9日・5月23日・6月13日

ACE/単位免除申請手順

- (0) 部会ウェブサイト(「カリキュラム」)にアクセス
- (1) 外部試験のスコアレポートのスキャンデータを用意する
- (2) 申請用紙を入手して必要事項を記入する
- (3) 申請用紙とスコアレポートのスキャンデータをBeef Ventureから電子送信する
- (4) 申請開始は2026年6月1日(月)
- (5) 申請期限は、単位授与が2026年6月11日(木)17:00
ACE申請が2026年7月8日(水)17:00

英語授業の学び方ガイド

英語科目の学修の進め方

- AEL/AEC
- 1) 1クォーター8週完結で、合格すれば0.5単位を付与
- 2) すべて必修科目のため(※シス情除く)、1つでも不合格になれば、不合格科目のみ、次年度に再履修が必要
- 3) 大学設置基準21条により、「1単位あたり45時間の学修」が必要。AEL/AECの各々につき、1週あたり、授業90分(※2時間換算)+家庭学習60分が義務付けられる
- 4) AEL/AECあわせて、毎週2時間の家庭学習(予習・復習・課題・関連自己学習)を確実に実施することが必要。

成績評価

- 統一評価基準
- S(秀) 90点以上+クラス上位10%未満 (例:39人クラスなら3人)
- A(優) 80点以上+S+Aでクラス上位40%未満 (例:39人クラスならS+A15人まで)
- B(良) 70点以上(人数制限なし)
- C(可) 60点以上(人数制限なし)
- F(不可) 60点未満
- ■ 点数のベースとなる評価方法の詳細は各教員が学生に通達(授業により、平常点、平常点+テスト点、レポートや発表に基づく課題点など)

不合格になった場合は

- 万一不合格になると例外なく再履修が必要に
- 2年次以降に学部での専門的学修に上乘せして英語の再履修クラスを受講して合格するのは、より一層ハードルがあがり、再履修を繰り返し、4年間で卒業できなくなるという事態も起こりうる
- 1年生は、時間的余裕も多く、英語を含む教養科目に全力で取り組める時期であり、学生個々人が「絶対に英語を落とさない」という強い意志を持って英語科目の学修に取り組んでいただきたい
- 大学では、教員による管理は基本的にはなく、学生は自律的に自身の学修をコントロールすることが必須。(1)休まない、(2)遅刻しない、(3)提出物の期限を確実に順守する—当然のことを確実にこなすことが基本。

再履修の方法

- 3つの方法
- (A) 翌年度同学期開講の対面クラスで再履修する(全開講クラスが対象)
- (B) 直後学期開講の遠隔クラスで再履修する(1クラスのみ設置)
- (C) 翌年度同学期開講の遠隔クラスで再履修する(2クラスのみ設置)

- 注意
- 1) 再履修はすべて抽選制であり、希望通りになるとは限らない
- 2) 対面クラスの再履修は、過去に受講したことのない教員の担当するクラスのみ可
- 3) 遠隔クラスでは定員が限定されているため、抽選に当たらない場合が少なくない
- 4) 遠隔クラスでの再履修は、1~2年生の間のみ申請可(3年次以降は申請できない)
- 5) 遠隔クラスで合格するには対面クラス以上に高い自己管理能力が求められるため、よく考えて申請を行うこと

英語関係（各種申請等）の情報確認方法

- <https://bit.ly/kobeeigo> (bit ドット ly スラッシュ こうべえいご)

神戸大学 大学教育推進機構
外国語第I教育部会(英語)

神戸大学 大学教育推進機構

文字サイズ 小 大

ごあいさつ **カリキュラム** 授業紹介 授業外学習 担当教員 お知らせ一覧

